

研修委員会 別紙-3

千葉県社会福祉士会研修啓発部会

H29.9.18(月)10:00～

出席者:浅見、宮本、梶原、矢戸、田尻、石山、大橋(輝)、小泉、鈴木、宮下、堀江

記録者:堀江

1. 平成30年度の基礎研修について

1)今後の見通しや基礎研修についての意見

- ・ 今年度の受講生数より、次年度、基礎研修Ⅱ・Ⅲについては、受講生の増が見込まれる。
 - (予測…基礎Ⅱ:60人/基礎Ⅲ:50人)
- ・ 社会福祉士の質の向上に繋がる内容、適切なソーシャルワーク実践ができる社会福祉士養成に繋がる基礎研修であるとよいのではないか。
- ・ 研修受講の目的の変化がある(自己研鑽としての位置づけだけでなく、後見人養成研修受講のための受講)
- ・ DVD研修の場合は、講師から受講生へ伝達する内容が統一されていたことで、日本会の意図が受講生に直接伝えることが出来ていた。
- ・ 生講義となり、受講生の理解度に合わせて、講義が行うことに繋がっている。
- ・ DVDから生講義になるにあたり、講師へ研修内容は日本会が提示している内容に沿うよう依頼済み。引き続き、依頼を行っていく必要あり。
- ・ 受講生が増えることにより、スタッフ・ファシリテーターによるサポートが必要な受講生が増える可能性がある。
- ・ 基礎研修Ⅰ内の県社士会の紹介の際、一つの委員会のみ取り上げるのではなく、他の委員会のメンバーからも委員会の報告を実施し、公平に紹介した方がよいのではないか？

2)開催方法について

開催方法について意見交換を行う。

◎回数を増やして開催してはどうか？(A・Bコースという形にして、定員を決める)

【理由】

- ・ 受講者数が増えることで、スタッフ側でフォローする受講生が増えるため、質を向上させるためにも1回あたりの受講人数を減らすことで、スタッフの目や声が行き届きやすくなる。
- ・ 他県の研修への振替受講の調整に事務局の負担が増しているため、県内で2コース設定することで調整がしやすくなる。

【想定される問題点】

- ・ 講師を2週連続または2日連続で拘束することとなり、講師の負担が大きいのではないか。
- ・ 講師の確保(2日とも担当可能な講師がない場合、講師確保。同一の内容を受講生に講義できるようにする必要あり)

- ・ 人件費(講師費用、スタッフ)や会場費等の負担が増えるため、受講料の変更等含め、理事会への相談が必要。
- ・ スタッフの確保をどのようにしていくか?
- ・ 受講生の費用負担増が見込まれる
- ・ 事務局の負担が増える(資料準備等)

⇒上記問題点が想定されるが、研修の質の維持と受講生のフォローの必要性等を鑑み、2クールでの開催として日程等の検討を行う。

3) 日程や受講料について

平成29年度は、生涯研修センター(理事会)が日程を決定していたが、平成30年度の日程については、調整する時間がないため、研修啓発部会内で検討を行うこととなる。

【日程について】

基礎研修Ⅱ:土曜日(A)・日曜日(B)…各定員 30人(予算計上は25人)

基礎研修Ⅲ:土曜日(A)・日曜日(B)…各定員 25人(予算計上は20人)

添付資料参照

※「受講生増加した分、スタッフ/ファシリテーターを増やす」という方法をとることで、今年度と同様の開催日程となる可能性あり。その場合は、日程を再検討する。

ただし、最終判断は委員長が判断する。←結果 収支減になることとスタッフ人員と講師負担増の問題でコース別は中止とする。

【受講料について】

基礎研修Ⅰ…5000円⇒5000円

基礎研修Ⅱ…30000円⇒50000円

基礎研修Ⅲ…50000円⇒50000円

に費用を変更し、会場費・講師費用を捻出可能か要計算。

また、上記費用以外にテキスト・ワークブック代の負担あり。(平成29年度受講生より、講義受講の都度、教材購入となる)

4) 研修の運営について

①アンケートについて

- ・ 基礎研修Ⅰ～Ⅲ、全研修において毎回実施する。
- ・ 受講生の不満や意見をこまめに聞き、クレームを未然に防いでいく。

②来年度の各研修のリーダーやスタッフについて

- ・ 基礎研修Ⅰ：堀江・〇〇（保留）
- ・ 基礎研修Ⅱ：田尻・石山・小泉・矢戸
- ・ 基礎研修Ⅲ：浅見・宮本・宮下・鈴木

※スタッフやファシリテーターは、事前に多めに集めておいて、研修間近になつたら、リーダーが個別に確認をしていく。

③マニュアル等の作成について

今までには、

- ・ 担当者や委員に判断を求められることが多かった。
- ・ 担当者で判断がつきにくいことは、事務局に相談して対応していた。
- ・ リーダーとして動く際に未経験者の場合は、いつ・何を・誰が・どうやって行つたらいいかがわからなかつた。

⇒スタッフの引き継ぎや継続的な運営のために、スタッフマニュアルや課題・受講に関するQ&Aの作成の検討。※課題のQ&Aは、事務局（清水さん）が作成中。

2. 千葉県社会福祉士会独自の研修について

・ファシリテーター研修

概ね好評であった。

今年度、同様の内容でもう1回開催を検討。年度後半での開催について、講師・大澤先生に打診。

・ワンアップ研修

事例検討を実施し、基礎研修の復習や日頃の実践の振り返りや支援について他者の意見を聞くことが出来、修了生への交流機会の提供に繋がつた。

次年度も継続予定だが、内容については再検討が必要。

⇒10月中旬までに浅見さんに計画について報告する。

・その他の研修

基礎研修Ⅰのグループワーク内で参加者より研修についての意見を募集するテーマ設定だったことから、ファシリテーターとして参加した委員より、報告（添付資料参照）

次年度の、前述の研修以外の企画・開催について検討。

⇒基礎研修の開催方法の変更を予定していること、平成29年度より2つの研修がスタートしたことより、平成30年度に新たに研修を企画は行わない。

⇒次年度の基礎研修で受講生より、研修内容についての希望を聞く機会を設けてはどうか。

次回の研修啓発部会打ち合わせは、2月に開催予定（日程については、後日発表）